

# 電気ボイラーによる研究室の特殊空調

この研究所では、発泡プラスチック製品を中心とする様々な研究開発に取り組んでいます。発泡プラスチック製品及び原材料の分析や実験を行う研究室では環境条件（室温23℃、湿度50%）を24時間一定にコントロールする必要があります。そこで、安全面、管理面およびメンテナンスコスト等を総合的に検討し、特に加湿の制御に優れている貫流式の電気ボイラーを採用しました。

## 改善効果

- 火気を使用しないので安全性が向上しました。
- 運転制御が簡単で管理が容易になりました。
- 燃焼部分がないのでメンテナンスコストが抑えられました。

## 設備概要

- 加熱方式:抵抗加熱
- 設置台数:4台
- ヒーター容量合計:80kW
- 相当蒸発量合計:125kg/h
- 最高圧力:0.98MPa  
(10kg/cm<sup>2</sup>)

